

ウメ・モモ・サクラの産地に被害をもたらす クビアカツヤカミキリ

に注意してください！

クビアカツヤカミキリは海外から侵入し、生態系等に問題を引き起こすとして、特定外来生物に指定されました。

幼虫は、モモ、スモモ、ウメ、サクラ等の樹木の内部を激しく食い荒らし、大量のフラス(糞と木屑が混ざったもの)を排出します。

1本の木に複数の個体が侵入すると、枯死することがあります。

体長2〜4センチメートル



特徴及び県内での被害の様子

成虫は全体に光沢のある黒色で、首回り(前胸背板)の赤色が特徴です。

6月〜8月上旬に現れ、樹皮の割れ目に産卵し、繁殖力が旺盛です。

幼虫の期間は2年〜3年。春〜秋に樹木を摂食し、範囲は心材までに及びます。



大量のフラス



成虫分散防止対策

防除対策について

～早期発見、早期防除が重要～

- 成虫を発見した場合は、必ず捕殺し、下記連絡先までご連絡ください。
- ウメ・モモ・サクラの樹で上記の図のようなフラス(糞と木屑が混ざったもの)を発見した場合には、下記連絡先までご連絡ください。
- フラスの発生がみられる樹の応急措置として成虫の分散防止のため、羽化期(6月〜8月)前に、幹ネットに(目合4mm以下)を巻くなどの処理をしてください。